

## 緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 30 年 9 月 10 日

### 緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 緩和ケアセンター	
企画名	
がんを考える市民公開講座「緩和ケア～自分らしく生き抜くために～」	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
西日本新聞へのチラシ折込み(22,500部)、久留米市内の全コミュニティセンターへの広報、聖マリア病院連携登録医への広報、聖マリアグループ法人への広報、院内職員及び患者さんへの広報、広報くるめへの開催記事掲載	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2018年9月2日(日)14:00~15:30(13:30受付開始)
実施場所	久留米シティプラザ4F 中会議室
参加人数	75名
具体的な実施内容: 講演1:緩和ケアってなんだろう? (演者:聖マリア病院緩和ケアセンター長今村豊) 講演2:最期まで考えよう。自分らしさって何? (演者:聖マリア病院臨床心理室福澤理香氏)	
効果について(アンケートの結果など)	
女性が73.4%と圧倒的。年代は40~70代が同程度に多かった(各20%前後)。 住まいは、久留米市が87.1%と圧倒的。その他、筑後市、柳川市、福岡市、鳥栖市。 講演を知った契機は、院内ポスター・チラシが31.1%、新聞折込みが21.6%、広報くるめが12.2%等であった。参加理由は、がん治療に関心がある(18.9%)、緩和ケアに関心がある(42.3%)、人生の最期等に関心がある(34.2%)などであった。	
その他報告	
緩和ケアセンター主催では年2回の開催予定がある。次回は2018年11月11日(日)時間や場所は今回と同じです。テーマは、婦人科がん、インフォームドコンセントに関する講演を予定。	
公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について	
<input checked="" type="checkbox"/> 掲載してもよい <input type="checkbox"/> 掲載しないで欲しい	
※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください	



「がんを考えると」  
市民公開講座

# 緩和ケア 自分らしく 生き抜く ために

がんの療養中に感じる、

だるさや痛み。不安や落ち込み、悲しみ。

患者さんの体と心のつらさを和らげ、

自分らしく過ごせるように

支援する医療が「緩和ケア」です。

患者さんと大切なご家族が

これまでのように暮らしていくために。

がんと診断されたときから始まる

「緩和ケア」について理解を深めます。

オレンジバルーン・プロジェクト

2008年3月に日本緩和医療学会がスタートした緩和ケア啓発事業。オレンジ色の風船がシンボルです。

2018年 9月2日 日

14:00～15:30 (受付開始13:30)

入場無料 定員100人 ※先着順

久留米シティプラザ  
4階・中会議室

(福岡県久留米市六ツ門町8-1)



講演1  
14:00～  
14:40

## 「緩和ケアって なんだろう？」

講師

聖マリア病院緩和ケアセンター長  
今村 豊



講演2  
14:50～  
15:30

## 「最期まで考えよう。 自分らしくさって何？」

講師

聖マリア病院 臨床心理室  
福澤 理香



2018年の今後の市民公開講座 開催スケジュール ところ 久留米シティプラザ

■9月22日(土) 14:00～16:00

「実はあなた! 糖尿病かも!? いきいきと笑顔で過ごすために」

■10月14日(日) 13:30～15:30

「～治療は選ぶ時代～腎不全の治療のいま」

■11月11日(日) 14:00～15:30

「緩和ケア」

主催 聖マリア病院緩和ケアセンター

後援

久留米市、久留米医師会、  
久留米観光コンベンション国際交流協会

問い合わせ: 聖マリア病院 市民公開講座事務局(企画部内) 久留米市津福本町422 TEL.0942-35-3322/FAX.0942-34-3115